

生き活きと輝き、誇れるまちの今を届ける

広 報 湯 前

Public
Relations

Since1962.

<http://www.yunomae.com/>
[まちの情報誌ゆのまえ]

4 TheMonthly
Apr_2018
Vol.442

柔道がつかないで
くれたきずな——



CONTENTS

- 04 クローズアップ 湯前小・中学校卒業式、湯前保育園卒園式
あるけあるけ湯前
- 10 ホットピ 仙台市へ休憩所・ベンチを寄贈
かぼちゃの家が小学生にストラップ寄贈 など
- 14 ズームアップ 認知症サポーター養成講座
- 15 カルチャーニュース、カルチャープラス
- 16 マンスリートピックス 観光案内人モニターツアー
湯前町 PR 大使に感謝状 など
- 18 インフォメーション おっぱい祭り告知 など
- 20 ライフニュース 保健師だより、戸籍の窓 など
- 22 コミュニケーション 協力隊 s'eye、婦人会だより など
- 24 巻末レポート 龍谷大学女子柔道部合宿
- 26 フォーカス 安井 佳奈さん

この経験がいつか、
大きな糧となる――

大舞台での挑戦／ 慈光こども園発表会

2月25日に農村環境改善センターで開かれた発表会。早朝から整理券が配られるほど保護者らが会場いっぱいにかけた。本格的な音響や照明が用意された大舞台で披露した体操。跳び箱や片手側転、逆立ち歩きなどを成功させた園児たちには会場から割れんばかりの拍手が送られた。

広報湯前は毎月1回発行しています。広報誌は湯前町のホームページでも見ることができます。ぜひ、まちと人の“生き活きと輝く今”をパソコンやスマートフォンでもお楽しみください。<http://www.yunomae.com/>

スマートフォンはこちらから



今月の表紙

13年間続く、龍谷大学女子柔道部(京都府)と湯前少年柔道クラブの交流。互いに再会を喜び、練習中は笑顔がこぼれる。柔道を通じて深いきずなが生まれていた。



1

卒業生の「門出の詩」では家族や保護者、後輩たちに感謝を伝え「小学校でのたくさんの思い出を胸に、未来に、夢に向かって歩んでいきます」と力強く発表しました。

会場には「中学校でも勉強や運動を頑張ってください」などと後輩たち一人一人からのメッセージも飾られていました。

湯前小学校(菅原浩子校長)の平成29年度卒業式が3月23日に同校体育館で開かれ、卒業生24人が6年間の思い出を胸に中学校へと旅立ちました。児童はステージに立ち、それぞれ将来の夢を発表。その後、菅原校長から卒業証書を受け取りました。菅原校長は「みんな頑張り屋さんで、い

つも一生懸命に取り組んでいた。思いやりと感謝の心を持って、何ごともあきらめず努力する人になってほしい」とあいさつ。卒業生は来賓から「おめでとうございます」と言われると、立ってまっすぐ背筋を伸ばし、大きな声で「ありがとうございました」と返事をしました。



1

1 後輩から花束を受け取り、3年間通った学び舎から飛び立つ卒業生たち 2 3 卒業生も保護者もたくさんの涙があふれた



2

3

湯前小学校卒業式

未来への一歩 踏み出す

1 涙ながらに恩師へ感謝の気持ちを伝えた卒業生 2 大きな声で自分の夢を発表



2

湯前中学校卒業式

感謝の巣立ち

湯前中学校(古家慎也校長)の第71回卒業式が3月11日、同校体育館で開かれ、卒業生30人が古家校長から卒業証書を受け取り、仲間や後輩との別れを惜しみました。

古家校長は「体育祭や文化祭、生徒会活動など数えればきりが無いほど学校を盛り上げてくれた。立派な皆さんを送り出せることを誇りに思う。自分を信じ努力し続けて、大きな実を实らせてほしい」とあいさつしました。



大きく返事をして卒業証書を受け取る卒業生

卒業生の門出の詩では、卒業生が修学旅行や、体育祭、文化祭などの思い出を発表。恩師に「厳しさや思いやり、人の生き方について教えていただいた。その教えを忘れず、これからの未来を歩んでいきたい」、保護者には「どんなにひどいことやわがままを言っても、いつも正面から向き合ってくれてありがとう」「いつも部活動の応援に来てくれてありがとう。高校に入っても応援に来て」などと涙ながらに感謝を伝えました。保護者はビデオカメラを片手にハンカチで涙をぬぐっていました。

卒業生は後輩たちとも歌やメッセージを交わし、「私たちの越えることのできなかつた壁をみんなで乗り越えて」とその思いを託しました。卒業生は後輩たちから花束を受け取り、会場から大きな拍手を受けて旅立ちました。

湯前保育園卒園式 成長に涙



保護者のあたたかいアーチをくぐり、ハイタッチを交わした

湯前保育園(東理絵園長)の卒園式が3月17日に、同園で開かれ、19人の卒園児が保護者らに感謝を伝え、大きく成長した姿を見せました。

名前を呼ばれた卒園児が壇上に行くと、会場のスクリーンには一人一人園内での思い出の写真が映され、「生まれてきてくれてありがとう」「小学校に入っても頑張ってください」と家族からのメッセージが添えられました。

東園長は「みんなとても立派だった。『ありがとう』とい



「ありがとう」。わが子の言葉と涙を、保育証書と一緒に受け取る保護者

う言葉を新しい友だちにもかけると仲良くなれるはず。ずっとみんなを応援している」とあいさつ。東園長から保育証書を受け取った園児は家族の元へ。「大きくなったら保育士になります。お母さん、お父さんありがとう」などと将来の夢と今までの感謝を伝えて証書を手渡し、互いに感動の涙を流していました。卒園児は運動会や発表会など季節ごとに思い出を発表すると、保育士たちも涙を流して別れを惜しんでいました。

あるけあるけ湯前

楽しく正しく 歩くコツを学ぶ

「あるけあるけ湯前」の心いやす自然チャレンジひな祭りウォーキングが3月3日に農村環境改善センターで開催され、住民ら30人が参加し、歩き方のコツを学びました。取り組みは住民が歩く楽しさを知ること、自分の健康づくりを生かせるようにとB&G海洋センターが主催し、湯前さわやかクラブだんだんが共催。熊本大学生涯スポーツ福祉課程の学生らが協力し、参加者に指導しました。

同大学の学生たちはB&Gのモデル事業に協力。同センターのリニューアル式典の時にウォーキング教室を開催し、歩いた分のカロリー消費量を地図に入れ込んだ「カロリーマップ」の作成にかかわるなどしてきました。

当日は、湯前駅周辺の3キロのコースを歩く予定でしたが、あいにくの雨。室内での開催になりました。開会式では、学生を代表して草野柊（修士課程2年）が「湯前の自然の中で交流して、ウォーキングの楽しさを感じてほしいか

5 10分のハードルを少しでも早く歩こうと挑む参加者 6 大きく踏み出して歩幅を計る子ども 7 言葉と反対の方向に動く体操で体と心をほぐした



つたが雨になってしまった。限られた時間と場所だが、歩く楽しさを感じられるようなプログラムにしている。ぜひ健康になって帰っていただきたい」とあいさつ。本町の漫画のまちづくりに合わせて、学生はコスプレ姿で登場し、会場を盛り上げました。

参加者は壁に背中とかかとをつけて立ち、歩く姿勢をチェック。大学生から「胸を張って、大きく腕を振ると、よりカロリーを消費する」「かかとから歩き、歩幅を広げると美脚効果もある」「早く歩くことを意識して」などとアドバイスを受けたあと、体育館を往復。コツを体に染み込ませていました。

ウォーキングをしたあとは、3班に分かれて体力チェックをしました。ストローとティッシュを使った肺呼吸機能のチェック、ミニハードルをまたいでの10分歩行、2歩の歩幅の大きさを測る「ツー・ステップ」で下半身や体幹、柔軟性など体の状態を確認しました。

健康寿命を延ばして、ずっと元気に

熊本大学教育学部
しまだ みゆう
島田 美優さん（4年＝上里3出身）

小さなころから育ってきた湯前で、町民の皆さんのつながりの深さを改めて感じました。私のことを覚えてくれていた人もいて、たくさん話しかけてもらいました。貴重な体験をさせていただきました。地元の知り合いからも湯

前は子どもが少なくなっていて、高齢化も進んでいると聞きました。町民の皆さんには、ウォーキングなどを続けてもらい、健康寿命を延ばすことで、ずっと元気でいてほしいです。



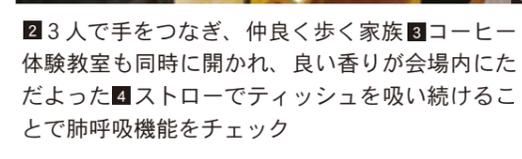
※島田さんは4月から大分県警に就職



2



1 湯前の「漫画のまち」に合わせて大学生がさまざまなキャラクターに変身して指導



3 3人で手をつなぎ、仲良く歩く家族 4 コーヒー体験教室も同時に開かれ、良い香りが会場内にただよった 5 ストローでティッシュを吸い続けることで肺呼吸機能をチェック



会場を往復し、笑顔でウォーキングのコツを学ぶ参加者



笑顔で健康づくりを学んだ参加者たち

会場内はコーヒー作りの体験教室も開かれるなど終始なごやかな雰囲気でした。参加した犬童二美さん（56歳、浅鹿野）は「週2〜3回、1時間ほど歩いている。歩き方は意識したことがなかったので、歩幅や姿勢に気をつけて歩きたい」、娘の琴美さん（28）は「会社でも座りっぱなしで、なかなか歩く機会がなかった。今回は歩く良いきっかけになった」と話していました。



あるけあるけ湯前

カロリーマップで 効果的なウォーキングを 楽しみませんか？

お問い合わせ
B&G海洋センター TEL0966-43-4555

今回のウォーキングイベントで参加者が歩くはずだった「カロリーマップ」の湯前駅周辺コースを皆さんにご紹介します。マップは子どもから高齢者まで幅広い世代の健康づくりをサポートしようと「湯前町シニア生き生き社会参画のまちづくり協議会」(会長=鶴田正巳町長)が作り、公共施設の活性化や健康スポーツなどを手がけるNPO法人「ひとづくりくまもとネット」(中川保敬理事長)や熊本大学

が協力しました。

コースの種類は3種類。駅前を中心とした「観光ルート」のほか、役場から湯前小・中学校を回る「児童見守り・交流ルート」、湯楽里から林道へ抜ける「体力づくり自然散策ルート」。それぞれ、区間ごとに消費カロリーや歩数の目安が書いてあり、運動の効果を実感しやすくなっています。町を探検するつもりで、ウォーキングを楽しんでみませんか？

CLOSE TOWN PRIDE. UP

No.1

仙台市新浜地区へ
屋根つき休憩所を寄贈

助け合いの輪、広がる



休憩所の完成を祝う鶴田町長ら関係者と地元住民

本町と水上村でつくる「湯前町・水上村東北地方太平洋沖地震災害復興支援協議会」（鶴田正己会長）は仙台市宮城野区の新浜地区にある「みんなの広場」に屋根つきの休憩所とベンチ6脚を整備。2月17日に完成式典が現地で開催され、鶴田町長や中嶽弘継村長ら関係者と地元住民など約30人が出席しました。

協議会は東北の復興を支援するために平成23年3月に設立。今まで、被災地の仮設住宅内に建設される「みんなの家」の縁側・建具の一部やシイタケ生産用の原木5千本を支援してきました。新浜町内会も熊本地震後に熊本へ支援物資を送るなど、交流が続けていました。

新浜地区では震災で58人が亡くなっていて、休憩所が建てられたみんなの広場は、津波で流された地区の集会所跡地にあります。

式典には協議会や町内会関係者、みんなの家プロジェクトを企画する熊本大学准教授の桂英昭さんらが参加。雪が



木のぬくもりを生かした屋根つきの休憩所とベンチ

舞う寒空の下、神事やテープカットなどが行われ、町内会長の平山新悦さんが、両町村長に感謝状を手渡しました。

鶴田町長は「熊本地震ではたくさんの方の支援をいただき、皆さんを感じている。地域の皆さんに喜んでいただけたらうれしい。感謝の気持ちを忘れず、これからも交流していきたい」と話していました。式典後には両町村からの支援で生産を再開させたシイタケ生産者も駆けつけ、熊本地震の復興支援として10万円を被災した地域に寄付しました。

No.2

かぼちゃの家が
湯前小卒業生にストラップ寄贈

卒業生の幸せ願って



ストラップの寄贈をよろこぶ児童たち

地域活動支援センター「かぼちゃの家」（東明美施設長）の6人が3月13日に湯前小学校（菅原浩子校長）を訪れ、卒業生24人に卒業記念として手作りストラップを寄贈し、門出を祝いました。

かぼちゃの家では身体・知的障害者らが潮神社にちなんだ「おっぱいストラップ」などの小物を手がけていて、イベントや町内の施設などで販売。寄贈は児童の卒業を祝おうと13年間続けられています。

毎年贈っているのは、布と綿で作られた3センチほどのかわいらしい「フクロウ」。フクロウは福を呼び、「不苦労」（苦労知らず）で不老長寿、学力向上にご利益があると考えられています。一つ一つ真心を込めて作り上げ、同校の玄関で児童たちに手渡しました。

施設長の東さんは「ご卒業おめでとうございます。皆さんの幸せを願って、利用者として一生懸命を込めて作りました。これからも元気に勉強や部活動を頑張ってください。ぜひ、かぼちゃの家にも遊び



フクロウは一つ一つ模様が違い、メッセージも添えられている

に来てください」とエール。

児童を代表して服部美来さん（同校6年11野中田3）と椎葉悠慎さん（同11田上）が「毎年プレゼントをいただきありがとうございます。大切にに使わせていただきます」とお礼を伝えました。袋を開けた児童は「かわいい」と口をそろえ、色とりどりのストラップをお互いに見せ合っていました。

湯楽里20周年スペシャルイベント

バイキングや温泉に来場多数

オープン20周年を記念したゆのまえ温泉「湯楽里」のスペシャルイベントが3月10日に開かれ、ランチバイキングや温泉入浴、各種出店などをめあてにたくさんの方が訪れていました。

イベントは20年の感謝を込め「ランチバイキングと温泉と音楽を楽しむ春の湯つたり湯楽里」のテーマで開催。午前11時から始まったランチバイキングは、にぎり寿司やステーキ、ローストチキンのほか、色とりどりのケーキ、果物、わらび餅など盛りだくさん。全26種類が用意され、会場いっぱいになるほど人がな

らんでいました。ステージでは、ゴスペルグループ「デル・ファイオーレ」のコーラス、「D.I.V.A」のソング、「Soprano」のバンド演奏、チャイロ西の大道芸、ペア宿泊券が当たる大抽選会などで大盛り上がり。バイキングの前売り・当日券には温泉入浴券がつき、この日は他の入館者も100円で温泉に入ることができました。

玄関前の広場では、湯前名物の「骨かじり」のふるまいや、和太鼓グループ「二期一会」の演奏がありました。「湯のマルシェ」も開かれ、庄籠製菓舗のかりんとう饅頭やかしのいえの焼き菓子、ふきだまりの総菜など5店が広場にならび、にぎわっていました。



1 全26種のランチバイキングを楽しむ参加者 2 軽快なバンド演奏やコーラスなどで盛り上がったステージ 3 玄関前広場では和太鼓演奏や各種出店でにぎわった



Hotopi

ホットピ
ホットなわだいをあなたへ

奥球磨めぐりんフットパス

文化を楽しむ「やるく」



観光案内人の説明を受けながら地域を歩く参加者

奥球磨3町村の日本遺産をめぐる「奥球磨めぐりんフットパス」が3月4日に開かれ、同3町村から30人が参加し、6キロのコースを楽しく歩いていました。

フットパスは田園や古い街なみなど、昔から地域に残るありのままの風景の中を心や体で感じながら歩くこと。住民に地元の魅力を伝えるために「奥球磨広域連携推進協議会」（会長 鶴田正巳町長）が主催し、2回目の開催となりました。参加者は「猫寺コース」として3町村を周遊。昨年3月に設立した湯前町観光案内人協会をはじめ、多良木町の同協会も協力しました。参加者はふれあい交流センター「湯くとびあ」を出発。御

大師堂、下町橋、林酒造場裏道へと抜け、道中は観光案内人の説明を聞きながら奥球磨の自然や文化を楽しみました。湯前を抜けたあとは、水上村の田園を歩き生善院（猫寺）へ。その後、多良木町大久保大地から百太郎堰へ向かいました。百太郎堰では、下村婦人会市房漬加工組合の弁当や多良木町産のいちご大福、水上村のおたけさん万十などが用意され、参加者はおいしうにほおぼっていました。

歩き終えた参加者は「おひなさまを見ることができ、球磨の歴史も知ることができてよかった」「お弁当がおいしかった」「案内人が親切でとてもよかった」などと感想を残していました。

カメラマンに向けて下町橋の上から楽しそうに手を振った

県南広域本部長表彰

タブレットでの見守りを評価



1 自宅に置かれたタブレットを操作する谷口さん 2 テレビ電話などの機能も兼ね備えたタブレット



本町のICT（情報通信技術）を活用した高齢者の見守りシステムがこのほど、熊本県の「地域づくり夢チャレンジ推進事業（夢チャレ）県南広域本部長表彰」に選ばれ、2月19日に球磨地域振興局で表彰式が開かれました。

夢チャレは県内の地域づくりの取り組みを促すために、県が市町村や住民の自主的な活動を補助して支援するもの。優れた取り組みを評価して県内に紹介するために、県知事表彰と広域本部長表彰を設けています。昨年度は、熊本地震の影響で中止されたため、本年度は平成27、28年度の取り組みから選ばれました。本町は「ゆのまえ好励（高齢者）者コミュニティ形成推進

支援事業」と名づけ、見守りの必要な一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の安否確認ができるタブレット端末を各家庭に設置。ニシム電子工業（熊本本店）（山本首三支店長）がシステム開発に取り組み、2年間の実験を経て、本年度から本格的に運用。現在、町内で40台使っています。実際に利用する谷口エツさん（87歳）下染田は「民生児童委員や町職員、近くの住民など、皆さんに気にかけてもらえることがありがたい」と話していました。表彰式には、同社の山本支店長ら3人と白川一雄保健福祉課長が出席。國武慎一郎局長から山本支店長に表彰状が手渡されました。



歴史文化を生かしたまちづくりに意見交わす

歴史文化基本構想シンポジウムが3月11日に農村環境改善センターで開かれ、住民ら80人が講演やパネルディスカッションで歴史文化を生かしたまちづくりについて学びました。

本年度、町は地域の歴史や文化を後世に伝えることを目的とした「湯前町歴史文化基本構想」を策定。シンポジウムは、住民も一緒にまちづくりについて考えてほしいと町が開催しました。

第1部では基調講演として長崎総合科学大学名誉教授の林一馬さんが「歴史文化遺産を生かしたまちづくり」をテーマに講演。林さ

んは「眠っているストックを再発掘し、身近なところから始めること。住民目線でのまちづくりが大事」などと魅力あるまちづくりや景観づくりについて話しました。

第2部のパネルディスカッションでは、鶴田正己町長、瀬戸口・馬場の区長、林さん、熊本大学教授の伊東龍一さん、同准教授の桂英昭さんら6人が今後の文化財の保存や活用について討論。「トイレなど周辺の整備が必要」「湯前の特色を生かした案内板を作っては」などとさまざまな意見が交わされました。



1 林さんの話に関心する参加者 2 歴史文化を生かしたまちづくりに意見を交わす関係者ら

Culture+ 城泉寺の仏像制作状況をレポート

たくさんのご協力ありがとうございました

東京芸術大学で開かれた卒業・修了制作展も無事に終わり、城泉寺勢至菩薩立像の模刻制作のすべての工程を終えました。制作は一人の力では決して完成までたどりつくことができませんでした。

卒業・修了制作展が終わった翌月の3月半ばに湯前町へ向かい、お世話になった皆さんに、お礼参りとしてごあいさつに行きました。

湯前に滞在して制作した3週間、城泉寺に近い益田あけみさん(62=瀬戸口)家族のお宅に泊まらせてもらい、寝食でお世話になりました。心・体ともにサポートしてもらい、制作を支えてもらいました。家族総出で歓迎会を開いても

らったり、町内を案内してもらったりして、心からのおもてなしにととても感動しました。

城泉寺管理人の柳瀬鐵男さん(75=瀬戸口)、湯前町教育委員会の藤崎正人さん(36=野中田3)にもたくさん協力していただきました。私の実家のお寺にまであいさつに来てもらいました。

いつか町の皆さんに作り上げた仏像を見てもらえる機会があればうれしいです。

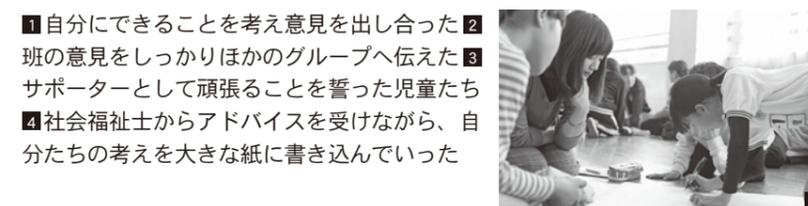
なかお りんこ
中尾 綾子さん
(28=東京藝術大大学院)



益田さん家族が開いてくれた歓迎会

知って、一緒に寄り添おう

認知症サポーター養成講座



1 自分にできることを考え意見を出し合った 2 班の意見をしっかりほかのグループへ伝えた 3 サポーターとして頑張ることを誓った児童たち 4 社会福祉士からアドバイスを受けながら、自分たちの考えを大きな紙に書き込んでいった



オレンジリングを手に、笑顔を見せる児童

認知症サポーター養成講座が2月23日に湯前小学校(菅原浩子校長)で開かれ、5年生24人が、認知症の知識を学んで、サポーターに認定されました。

講座は認知症を正しく理解して、当事者や家族を支える人材を育てようと町が主催。本町の保健師をはじめ、社会福祉協議会のケアマネジャーや、ゆのまえ読み聞かせ「なすなの会」、上球磨地域包括支援センターの社会福祉士など7人が協力しました。

なすなの会が、認知症の祖母を持った男の子の物語を朗読し、同支援センターの山浦隆宏さん(38=下村)が「65歳以上の5人に一人が近い将来認知症になることが予想されている」「忘れるだけでなく、言葉が出にくくなるなど、できないことが増える」「70以上の種類がある」などとクイズを交えながら、認知症の特徴を児童に分かりやすく話しました。

児童たちは5つの班に分かれ、今までの話を振り返りながら「認知症の人はどんな気持ちか」「自分たちにできることは何か」それぞれ意見を出し合いました。「笑顔で優しい言葉をかける」「認知症のことを勉強する」「一緒にいる時間を増やす」など温かな意見がたくさん出ました。

椎葉天剛さん(同校6年=野中田1)と米良大和さん(同校3)は「認知症がもたらす忘れの病気だとは思っていませんでしたが、認知症になる仕組みや症状が分かった。町でそういった人たちに会ったときには、優しい言葉や態度で接していきたい」と話しました。

山浦さんは「ぜひ今日の発表を実践してほしい。高齢者が増え、認知症の人も増えている。困っている人を助けてあげてほしい。子どもも大人もみんなで支え合う地域にしたい」と話し、児童にサポーターとなった証のオレンジリングが配られました。

3月10日(土)



11人を代表してあいさつをした猪原さん

立派な自衛官に
自衛隊入隊予定者合同壮行会

平成29年度人吉球磨地区自衛隊入隊予定者合同壮行会が3月10日にあさぎり町せきれい館で開かれ、4月から部隊に入隊する11人を家族や来賓らが激励しました。

壮行会は自衛隊家族会人吉球磨地区連絡協議会(井上朋和会長)が主催し、管内10市町村が協賛。本町からは海上自衛隊に入隊する猪原さん(18=植木)が出席しました。

井上会長が激励し、入隊予定者は一人ずつステージに上がって決意を表明。最後に、代表して猪原さんが「11人で切磋琢磨しながら、社会に貢献できるように頑張っていきたい」と力強くあいさつをし、会場から大きな拍手を受けました。

3月12日(月)



PR大使としてパンフレットを町長へ手渡した児童たち

パンフレット作製に感謝状
湯前町PR大使

昨年11月、「湯前町PR大使」として町から委嘱を受けた湯前小学校の6年生24人が町のパンフレットを作り、3月12日に町役場で鶴田正己町長らへ完成を報告しました。

PR大使は、児童のふるさと愛を育てようと教育委員会が企画。児童は「伝統芸能」「イベント」「施設」「歴史」「商業」の班に分かれてインタビューや写真撮影を行い、パソコンを使ってパンフレットを作りました。町役場には児童3人が来庁し、中村和弘教育長から感謝状を受け取りました。永濱月碧さん(同校6年=浜川)は「町のことをたくさん知ることができた。パンフレットは地元の人に見てもらいたい」と話しました。

3月13日(火)



傾聴のコツを学ぶ参加者

悩んでいる人をつなぐ
ゲートキーパー養成研修会

悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげるための「ゲートキーパー養成研修会」が3月13日に湯前町保健センターで開かれ、民生児童委員やシルバーボランティア連絡協議会などから24人が参加し、自殺を防ぐための心得や傾聴のコツを学びました。人吉保健所の保健師が県内の自殺の現状について話し、生活支援センター翠(人吉市)の精神保健福祉士、檜垣俊輔さんが講演。檜垣さんは「いつもと違う仕草や表情に気づき、声をかけることが第一歩。話を聞いてもらっただけでも自殺防止につながることもある」と傾聴のコツとその大切さを参加者に伝えました。

春の女子旅を企画
観光案内人モニターツアー

「ゆのまえ観光案内人モニターツアー」が2月25日に町内一帯で開かれ、15人がひなまつりにちなんだ女子旅を楽しみました。

ひなまつりに合わせて、「ほっこり春のおひな女子旅」をテーマに町が主催し、湯前町観光案内人協会(有馬鉄郎会長)が協力。モニターツアーは本年度2回目の開催となり、町内やあさぎり町、人吉市などから参加がありました。

参加者はレールウイングで手作りひなまつり展を見学。湯楽里に移動し、町産の米粉を使ったパン作りを体験しました。潮神社では、観光案内人が参加者に由来や言い伝えなどを説明していました。

2月25日(日)



米粉パン作りに挑戦する参加者

家族のありがたみ感じて
青少年育成町民会議講演会

湯前町青少年育成町民会議(会長=鶴田正己町長)主催の講演会が3月3日に農村環境改善センターで開かれ、住民45人が参加し、家族の大切さを学びました。

講演会は地元住民に町の子どもたちを健全に育てる知識を学んでほしいと開催されました。

講師は東京都から長崎県島原半島国見町に移住し、活動する「万年青春シンガー」の川田金太郎さん。川田さんは中学校を卒業後、自転車で行った日本一周の旅をするなど6年間の放浪生活の体験を語り、オリジナルソングを歌いながら、自身が感じた「母の存在のありがたさ」を参加者に伝えました。

3月3日(土)



笑いを交えながら家族のありがたみを伝えた川田さん

楽しく税を知る
租税教室

湯前小学校6年生の租税教室が3月9日に同校で開かれ、児童24人が税金の種類や使い道などを学びました。

税について正しい知識をつけてもらおうと人吉球磨地区租税教育推進協議会(末次美代会長)が主催。本町の税務町民課職員二人が講師となり、税金の種類や使い道をクイズ・映像などで分かりやすく説明。1億円の重さを再現したアタッチケースを児童全員が持ち、その重さに驚いていました。

桑原成矢さん(同校6年=下村)は「1億円は思った以上に重かった。今日は税金がどんなことに使われているかがよく分かった」と話していました。

3月9日(金)



アタッチケースを持ち1億円の重さを感じた児童

声と旅する声優音声ガイド 人気声優が湯前をご案内!

3月9日から町内4カ所の観光地で、人気声優の釘宮理恵さん(熊本市出身)と島崎信長さんの音声ガイドが流れるようになりました。設置してあるパネルのQRコードをスマートフォンで読み込むと音声ガイドが流れます。皆さんも一度聞きに行ってみませんか?



問い合わせ 産業振興課

- 場 所 「湯前まんが美術館」「城泉寺」「潮神社」
「ゆのまえ温泉 湯楽里」
- 期 間 平成31年3月8日(金)まで
- 方 法 設置してある等身大パネルのQRコードをスマートフォンで読み込む
- 声 優 釘宮理恵さん、島崎信長さん
- 主 催 熊本メディアコンテンツコミッション協議会

Instagram投稿でポストカードをゲット

各スポットで撮影したお気に入り風景に、ハッシュタグをつけてInstagramで投稿すると、抽選で200人にオリジナルポストカードをプレゼント!

■ハッシュタグ #MCC 声優音声ガイド

■募集期間 5月31日(木) 正午まで

※当選は発送にて代えさせていただきます

ECOLOG

ごみ情報

☆リサイクルステーションからのお願い☆
・空き缶やびん類は、きれいに洗う
・リサイクル品を入れてきたビニール袋は、各自持ち帰る
・じゅうたんは1畳以内で切って燃えるごみへ

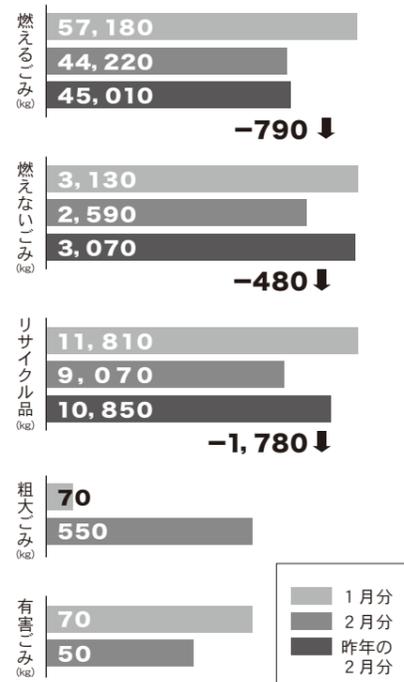
生活の中で私たちができることを考えましょう

- 買 物 ……エコマーク、省エネマークの商品、つめ替え商品を買う。マイバックを持参。余分な包装は断る。
- 自 宅 ……冷蔵庫につめすぎない。料理は食べきれぬ分だけ。テレビの主電源や誰もいない部屋の照明を消す。資源ごみは分別、いらなくなったものは必要な人へゆずる。
- 移 動 ……近距離の通勤、買い物は公共交通機関や自転車を使う。アイドリング、急発進、空ぶかしをやめ、一定の速度で走る。
※一般道40km/h、高速道80km/h

《地球環境問題と理由》

- 開発途上国の公害 ……大気汚染、水質汚染など。急速な都市化・工業化で汚染物質がそのまま排出されている。
- 国を超えた有害廃棄物 ……国境を越えて処分されるように。処理責任が不明確。
- 酸性雨 ……工場や自動車などの汚染物質が混ざり、強い酸性(pH5.6以下)になる。魚や森林、大理石の建物、石像などに影響が出ている。

4月の不燃物収集は4・18日です(第1・3水曜日)
4月30日(月)振替休日は、ごみ収集します(月・木収集地区のみ)



全日本おっぱい(牛乳)早飲み・赤ちゃんハイハイ競争参加者募集! 第13回ゆのまえ潮おっぱい祭り

日 時 4月29日(日・祝) ※雨天決行
場 所 ステージイベント: ゆのまえグリーンパレス芝生広場

安産等合同祈願式

時 間 午前9時45分～
場 所 潮神社
申し込み 実行委員会事務局へ電話で申し込んでください
※先着20人(組)に記念品を贈呈

出店者募集

出 店 者 町内に住んでいる人のみ
申 込 期 限 4月6日(金)
出 店 料 1000円
テ ント 料 400円(希望者のみ)
申 込 込 出 店 申 込 書 を 提 出

全日本おっぱい(牛乳)早飲み選手権・赤ちゃんハイハイ競争の参加者を募集します

くわしくは、実行委員会事務局へおたずねください

お問い合わせ・申し込み 実行委員会事務局(湯前町商工会内) Tel.0966-43-3333



この祭りは、町民や地元企業・団体の皆さんからの協賛金で運営しています。協力をお願いします。

金 額 1口500円から。会場内に名前を掲示します
申 込 込 申 込 書 に 必 要 事 項 を 書 き、 協 賛 金 を 添 え て 申 込 込 込 込

BOOKS

読書のススメ

中央公民館図書室 ※貸出期間2週間/一人5冊まで
○平日 午前8時30分～午後5時 ○土日・祭日 午前9時30分～午後5時
【問い合わせ】教育委員会 Tel.0966-43-2050

一般図書



夫に会いに、時を飛ぶ

デイ・トリッパー
梶尾 真治(著) キノブックス

最愛の夫・大介を結婚後わずか3年半で亡くした香菜子。友人たちの前で気丈に振る舞おうとすればするほど、とどろき夫がいなさびしさが胸に広がっていく。叶わないと知りながら「大介に会いたい」と願う香菜子の前に現れたのは…?



桜のように儚く美しい恋物語

桜のような僕の恋人
宇山 佳佑(著) 集英社

美容師の美咲に恋をした晴人。一度はあきらめたカメラマンの夢を再び目指す晴人に美咲も惹かれ、二人は恋人になる。しかし、美咲は人の何十倍もの早さで年老いる難病を発症。老婆になっていく姿を晴人にだけは見せたくないと思ふ美咲は…

児童図書



娘を観察する母親に共感

なつみはなんにでもなれる
ヨシタケ シンスケ(著) PHP研究所

コレ、なーんだ!? なつみが何かのマネをして、それをお母さんが当てるゲームをするが、お母さんはなかなか当てられない。何にもとられず、自由で純粋な子どもの姿。それに対する母の反応のギャップもおもしろい。



日常の良さに気づく

あさになったのでまどをあけますよ
荒井 良二(著) 偕成社

山間の小さな村や、たくさんの人々と車が行き交うにぎやかな街。色とりどりの植物が生い茂る土地。それぞれの場所で、朝をむかえた子どもたちが、新しい1日の始まりに窓を開ける。日常の喜びをそっと気づかせてくれる1冊。

※各地区の健康相談は各地区の公民館で開催
※行事は3月23日時点。場合によっては変更になることがあります

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 消防団入退団式・ 操法大会 8:30~ B&G海洋センター	2 健康相談 9:00~ 保健センター	3	4 二種混合予防接種 (小6) 13:00~ 保健センター	5 検診 (6カ月児 12:50~、 3カ月児 13:00~) 多良木町保健センター	6	7 慈光こども園入園式 10:00~
8 四半的弓道大会 10:00~ B&G体育館	9 健康相談 9:00~ 保健センター	10 にこにこサークル(育児) 10:00~ 保健センター 湯前小入学式 10:30~ 湯前中入学式 13:30~	11	12	13 旬報配布	14 RVランド キャンピングカー イベント グリーンパレス芝生広場
15 RVランド キャンピングカー イベント グリーンパレス芝生広場	16 健康相談 9:00~ 保健センター	17 にこにこサークル 10:00~ 保健センター 検診※1 13:00~ 保健センター	18 歯科検診 (2歳以上の4・10月生) 9:00~ 保健センター	19	20	21
22	23 健康相談 9:00~ 保健センター	24 にこにこサークル 10:00~ 保健センター 麻しん風しん予防接種※2 13:00~ 保健センター	25	26	27	28
29 昭和の日 おっぱい祭り 9:45~ グリーンパレス芝生広場・ 潮神社	30 振替休日					

※1 H25.3・4月、H27.2・3月、H28.8・9月生 ※2 H24.4/2~H25.4/1生、H29.1・3月生

戸籍の窓

ご結婚おめでとう

- 高橋 颯汰 (馬場)
- 東 史華 (熊本市)
- 永杉 茂仁 (熊本市)
- 中嶋 紘子 (浅鹿野)
- 小松 忠盛 (奈良県)
- 金子 由季 (下染田)

たんじょうおめでとう

- みつお はるき 保護者名
- 満尾 悠貴 将貴 (田上)
- しいば りしん
- 椎葉 莉真 譲 (中里2)
- たきがみ あおい
- 滝上 葵唯 紘史 (下城)

ご冥福をお祈りします

- 福屋 ハルヨ (福寿荘)
- 尾方 利雄 (下里)
- 淵田 益弘 (上里1)
- 椎葉 玉江 (上村)

香典返し

- 山口 アイ子 (上里1)
- 椎葉 隆幸 (上村)

H30.2.1~2.28

Dietary habits

食生活のススメ

バランスの良いお弁当で出かけませんか？

お昼ごはんを手作り弁当にしたり、休日にお弁当をもって出かけたり…。春から新しいことにチャレンジしてみませんか？ バランスの良いお弁当でさらに健康を維持しましょう。

お弁当の栄養バランスは主食:主菜:副菜の割合が3:1:2



*カルシウムやビタミンなど足りない栄養補給には牛乳やヨーグルト・チーズなどの乳製品、果物をプラスしましょう

管理栄養士 田中 朋子

Physical

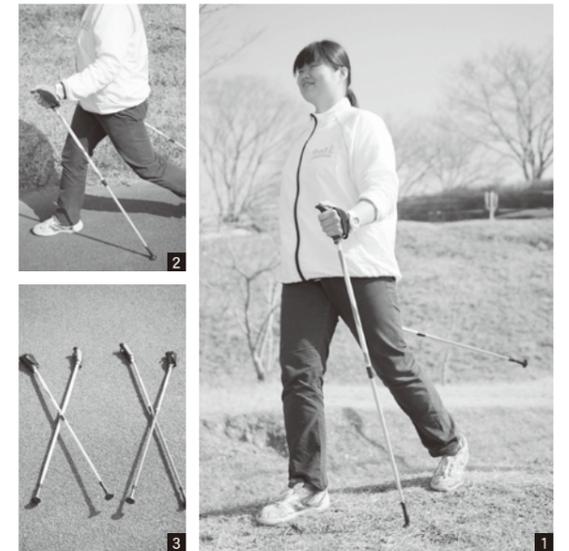
B&G健康づくり

ポールを無料で貸し出しています 体力づくりや減量には「ノルディックウォーキング」

暖かい日が続き、外に出るのが楽しみな季節がやってきました。全身運動ができる「ノルディックウォーキング」で春の香りを感じながら、町内を歩いてみませんか？

メリット

- ・体全体を動かし、1時間当たり 400 千キロ歩を消費 (通常のウォーキングは 280 千キロ歩)
- ・ひざや腰への負担が軽くなる
- ・上半身をしっかり使うので、肩・首のコリを解消
- ・メタボリックシンドロームや生活習慣病の予防になる



ポールは無料で貸し出しています

■受け付け B&G 海洋センター ※無料

- 1 ひざや腰を痛めにくく、ぐいぐい進むのがクセになる
- 2 ストラップがついていて、楽に持つことができる
- 3 ポールはB&G事務所で貸し出し中

お問い合わせ B & G 海洋センター

Health

保健師だより

集団生活前か、3歳までのワクチン接種がおすすめです

季節的にも過ごしやすくなってきました。今月は感染症情報をお知らせします。

おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)

「ムンプスウイルス」による感染症です。2~3週間潜伏してから両側(片方)の耳下腺が腫れ、1~2週間で回復します。まれに、ずい膜炎、脳炎、すい炎、難聴などを併せて引き起こすことがあります。唾沫の飛沫・接触感染で広まることもありますが感染していても症状が現れない人も多くいます。



治療

基本的に病気の原因に対してではなく、症状をやわらげるために行われます(対症療法)。

予防法

ワクチン接種が効果的です。集団生活をする前か、かかりやすい3歳までに接種することをおすすめします。ただし、定期的予防接種の対象疾病ではないので、かかりつけ医での任意の接種になります。

参考 国立感染症研究所HP
保健師 中西 博子



新しいこと
始めませんか？

なかやまかずたか
中山 一孝

話せそうに見えるのか、賢そうに見えるのかは分かりませんが、英語でよく道を聞かれます、まったく話せないのに。「ここから熊本市へは高速道路を通らずにどうやって行けばいい?」。ハードル高めです。あなたも町に来た外国人とのコミュニケーションに困ったことはありませんか。隔週木曜日の夜、ALTによる英会話教室が5月からスタート。ペラペラの人もそうでない人もjoin us(一緒にやりませんか)。



かるたなどをしながら楽しく学べます

空はきれいな青空で太陽が出てくるものの、とても冷たい風が吹いていた朝。外のたらいに溜まっていた水には氷が張っていました。寒さに負けず町内をまわっていると、八勝寺でいつもと違う光景が目に入りました。「ん? 水道の蛇口から氷が出ている?」。

逆つららは、一体どのような様子でしたのか。調べてみると、洞窟や雪国の家の軒下など、常に上から水がしたたり落ちるところで見られるもの。「氷筍(ひょうじゅん)」といよいよ春本番。氷の筍ではなく、本物の筍が見られる日ももうすぐです!

近づいてよく見てみると、蛇口から出ているのは水。その水が落ちる先にはバケツがありますが、表面が凍り、そこから蛇口に向かって氷が伸びていました。まるでつららを逆さにしたような、少し変わった水。青空と太陽の光が氷に写り、キラキラと輝いて、とてもきれいでした。

と書くのでしょうか。その理由はともシンプル。「氷が筍のような形をしているから」だそうです。天候や気温など、条件がそろわなければ見られない氷筍。めずらしいものを見ることができて幸せな気分になりました。

空はきれいな青空で太陽が出てくるものの、とても冷たい風が吹いていた朝。外のたらいに溜まっていた水には氷が張っていました。寒さに負けず町内をまわっていると、八勝寺でいつもと違う光景が目に入りました。「ん? 水道の蛇口から氷が出ている?」。

と書くのでしょうか。その理由はともシンプル。「氷が筍のような形をしているから」だそうです。天候や気温など、条件がそろわなければ見られない氷筍。めずらしいものを見ることができて幸せな気分になりました。

地域おこし
協力隊's eye
アイ

隊員「目線」でレポート

リポーター
やすい かな
安井 佳奈



「春うらら ならぬ 逆つらら」

冬季オリンピックが開催され、冬のスポーツを観て熱くなったあと、暖かい日が続く町内。あっという間に春の色になってきました。このごろはあまりにも暖かいので、今回はまだまだ寒かった日のことを紹介します。

「ゆのまえかじり」は
こちらから



地面に落ちた水がすぐに固まる「氷筍」は町内ではめずらしい?

Communication

Nice Smile!

今月のゆのまえがお



今月のえがおは...

たかし
湯前 敬さん(86=古城)

【ひとこと】

健康体操で自分が健康で動かれるごと頑張ります!
目標は杖をつかんと!

※健康体操は毎週水曜日にB & Gで開催中

「笑顔がすてき」「何かPRしたい」などたくさんの人を待っています
(総務課 地域おこし協力隊まで TEL 0966-43-4111)

Editorial note

編集後記

▼湯前中の卒業式。私が広報担当になったばかりのころ、卒業した子どもたちはまだ小学生でした。いつも取材にいくと、当時と変わらず大きな声で「こんにちは!」。対照的に年々上手になっていくインタビューの受け答え。立派に育った子どもたちの巣立ちは広報担当者にとっても感動ものです。
▼昨年9月号で取材した、町出身の高校生は熊本地震で被災した人のために、みずから活動を企画しました。町出身の子どもたちは、だれかのために行動できる心を持っています。皆さんの高校での活躍を期待しています。
▼湯楽里 20周年イベント。玄関前に出店。取材後に、スイーツを買って帰り「パクリ」。思わず「うまいっ」と声がもれました。この春、おいしいもの探しに、町内へ出かけようと思います。
▼平成 29 年度もいよいよ最後。たくさんの人や物に出会い、例年以上に自分の役割を考えさせられました。気分は一新、思いは継続。常に挑戦する気持ちを持っていきたいものですね。(㊟)

Community

かたってみらんね?

地域 婦人会だより

2月11日(日) 青年団ミニサッカー大会協力

ことしも豚汁を提供。寒い日だったのでみんなに喜んでもらいました。

2月24日(土) 青年団と清掃活動(まんが美術館~元児玉医院とJA湯前店~役場)

3月4日(日) 日本遺産めぐり

マイクロバスいっぱい的人数で、多良木~久米~あさぎり町上方面へ。新しい発見がありました。

これから

4月15日(日) 郡婦連総会&福祉チャリティーショー

あさぎり町せきれい館 午前9時~

4月17日(火) 町婦人会総会

講話 人吉市消費生活センター(悪徳商法など) 午後7時~

湯前町地域婦人会 会長 橋田 實子



1町教育委員会から説明を受けて地域をめぐった 2青年団と一緒に汗を流した町内の清掃活動



乱取りで積極的に大学生に技をかける



4 3

2 月23日から27日に本町で合宿を行っていた柔道の名門、龍谷大学女子柔道部（堀田幸宏監督16人）が2月24日と26日に湯前中学校柔道場で教室を開き、湯前少年柔道クラブの22人に技のコツを伝授しました。

合宿は明導寺住職で柔道クラブの監督を務める藤岡教頭さん（43歳上里3）が以前同大学のコーチを務めていたことがきっかけで平成17年から始まり、ことしで13回目。龍谷大は昨年の全日本学生柔道優勝大会で団体3位、個人でも世界大会で優勝や入賞を繰り返しています。

3月4日に関西柔道選手権大会を控える大学生たちはランニング、実践練習などで本番に向けて調整。合宿中、柔道クラブの指導だけでなく、慈光こども園で柔道教室を開くなど、地元の子どもたちに柔道の楽しさを伝えました。柔道クラブへの指導では、大学生が実際に、背負い投げや大外刈り、大内刈りなど、それぞれ得意技を子どもたちへ

1 笑顔で子どもたちと接する大学生 2 「よろしくお願いします！」と自分からお願いに行く子どもたち 3 最後のリレーは大盛り上がり。子どもたちが大学生に勝利 4 大学生の技のかけ方を身振り手振りにまねて覚える子どもたち

柔道でつながるきずな

に披露。「大外刈りはしっかりと踏み込んでふとももで刈る」などと分かりやすくアドバイスしました。子どもたちは身振り手振りに技のかけ方をまねし、その後の乱取りでは大学生とペアを組んで、積極的に技をかけていました。

練習で汗を流したあとは同部コーチの堀田いづみさん（39）、同部を卒業し、実業団で活躍する小野彰子さん（25）、濱田早萌さん（23）が一人一人子どもたちにアドバイスし、全員が真剣に聞き入っていました。井上貴斗さん（湯前中へ

実績のある3人から上達するためのヒントを得ようとする子どもたち



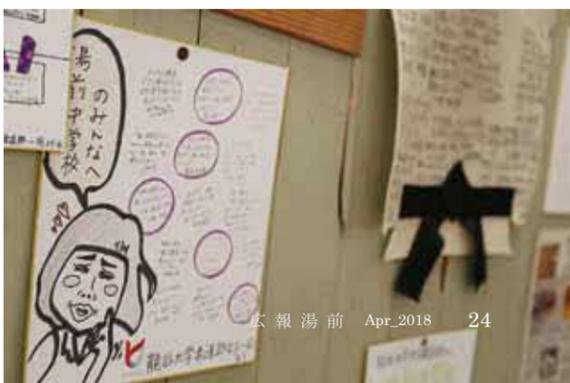
スラックラインも体験。25日の夜には湯楽里で交流会も開かれ、地元住民や関係者らと親ほくを深めていました。最後に大学生は子どもたちにメッセージを書いた色紙をプレゼント。「来年会うときの成長を楽しみにしています」などとエールを送り、子どもたちは後日、交流してもらったお礼を手紙に書いて送りました。

龍谷大女子柔道部 主将

よねざわ かほ
米澤 夏帆さん(3年=63kg級)

合宿には1年生のころから参加しています。普段は同年代の選手としか接することがありませんが、合宿では、子どもたちに柔道を教えることで貴重な地域交流の経験をさせてもらっています。湯前の皆さんは年に一度しか来ない私たちが昔からの知り合いのように受け入れてくれて、とても温かいと感じています。ことしはチームのレベルも上がっています。日本一を目指して頑張ります。個人では全国3位が最高成績なので、ことしは全国制覇したいです。

感人のつも温かさをいかます



「皆さんに良い結果を報告したい」
感謝を胸に、リベンジ誓う——



フォーカス
Focus
Focus on hot human

3年連続の九州大会で初のベスト8 安井佳奈さん

地域おこし協力隊
やすい・かな
25 || 中猪

Vol.8

第28回九州柔道選手権大会は3月4日に福岡武道館で開かれ、本町で地域おこし協力隊として活動する安井佳奈さんが熊本県代表として3年連続で出場し、初のベスト8入りを果たした。

本大会は無差別級で九州柔道協会が主催。九州各県の予選会で上位入賞した選手が出場した。

兵庫県出身の安井さんは龍谷大学柔道部(京都府)時代に合宿で来町。人の温かさに魅力を感じて、2年半前に移住。豊富な経験や巧みな技術を生かし、湯前少年柔道クラブの小・中学生に指導している。

一昨年、県予選に出場し、オール一本勝ちで優勝した安井さん。ことしの県予選は4人によるリーグ戦。得意の内股や大外刈りで一本勝ちを収めて決勝へ。

決勝戦は惜しくも敗れたが2位で九州大会に進出した。

「なかなか練習できず、試合の内容も納得がいかかった」と話す安井さん。予選後、柔道クラブの指導者や小・中学生、合宿で来町していた龍谷大の現役選手と特訓。柔道漬けの3週間を送った。

九州大会は17人のトーナメントで開かれ、安井さんは2回戦から出場した。京都府に住む大学時代の同級生が柔道衣を持って応援に駆けつけ、試合前のアップを手伝ってくれた。湯前からたくさんの人が来た。

初戦は別府大学(大分県)の選手と対戦。序盤、寝技に持ち込まれるが、持ちこたえて反撃開始。自分の間合いに持ち込み、得意の内股——。開始1分半ほ

どで一本勝ちを取めた。次戦の鹿屋体育大学(鹿児島県)の選手との対戦には敗れたものの、ベスト8入りを果たした。

「一つ勝てた安心もあるが、もっとできたのではないかと悔しい気持ち大きい。自分だけの力で勝てたのではなく、私のために一緒に練習をしてくださった人、応援してくださった人がいたからこそ、九州大会に進むことができた。試合が終わってからも、町の皆さんが声をかけてくれて、人の温かさをあらためて感じた。皆さんに良い結果を報告できるように頑張りたい」。安井さんはまわりへの感謝の気持ちを胸にリベンジを誓った。